



海外巡回健康相談—ベトナム、ハノイ (2018/1/7-10)

1) ハノイの巡回健康相談を実施(1/8-9)

2017年度の第7回海外巡回健康相談はベトナムの首都、ハノイ。ベトナムは面積およそ33万平方キロ(日本の約9割)。人口約9,270万人。対日貿易額は297億ドル(3.2億ドル入超)、1,687の日本企業が進出しており、約16,000名の在留邦人が登録されている。(外務省ホームページ、海外在留邦人数調査統計H29より)
JOMFは1月8日(月)、9日(火)の2日間でハノイ日本人学校及び4つの日本人幼稚園[なかよし幼稚園、さくらHoaAnhDao幼稚園、ひまわり幼稚園、桜モンテッソーリ子供の家]で600名を超える子どもたちの歯科健診を実施した。



ベトナム巡回実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ハノイ (1/8, 9)	ハノイ日本人学校 (1/8)	歯科健診 (小学1~6、中学1~3)	田中先生、原先生	379名
	なかよし幼稚園 (1/8)	歯科健診	原先生	34名
	さくらHoaAnhDao幼稚園 (1/9)	歯科健診	田中先生、原先生	64名
	ひまわり幼稚園 (1/9)	歯科健診	田中先生、原先生	35名
	桜モンテッソーリ子供の家 (1/9)	歯科健診	田中先生、原先生	91名

参加者合計 603名

2) 歯科健診: ハノイ日本人学校(1/8)、なかよし幼稚園(1/8)、さくらHoaAnhDao幼稚園(1/9)、ひまわり幼稚園(1/9)、桜モンテッソーリ子供の家(1/9)

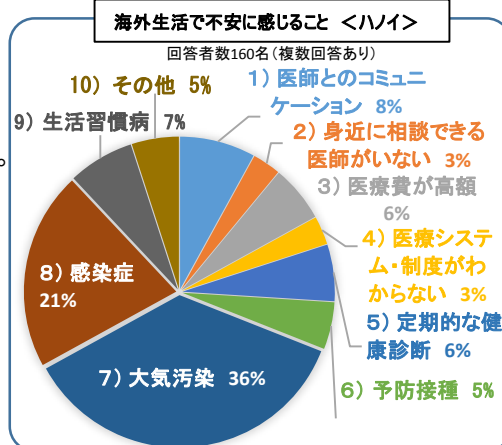
- ハノイ日本人学校(校長 木本吉則先生)の健診受入れを担当くださったのは、教頭の嶺井俊宏先生と養護担当の船津朱先生。
- 今回のハノイ巡回に参加した先生は、JOMFの海外巡回のレギュラーメンバーである北京天衛診療所 医療顧問、西埼玉中央病院勤務の田中健一先生と鶴見大学歯学部 解剖・組織細胞学講座 学内講師の原矢委子先生。
- 今回2度目の巡回となった4つの日本人幼稚園は、ハノイ日本人学校と同じトゥーリエム(Tu Liem)地区のなかよし幼稚園(園長 大庭公治先生)、West Lake の中心にあるタイホー(Tay Ho)地区のさくらHoa Anh Dao幼稚園(園長 塩川桜先生)とひまわり幼稚園(園長 蕭孔明先生)そして都市開発の進むコウザイ(Cau Giay)地区の桜モンテッソーリ子供の家(園長 久保遊野先生)。いずれも在留邦人数の増加を反映して昨年に比べ健診参加者は増加した。



3) ハノイ医療事情

健診を受けた幼稚園児の保護者へ現地の医療事情についてアンケートを実施。ハノイにおいて医療に不安を持つ人は90%。不安要因は;

- ① 大気汚染 (36%)
- ② 感染症 (21%)
- ③ 医師とのコミュニケーション(8%)
- ④ 生活習慣病 (7%)



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の主要地域には、2001年から日本人医師を派遣して、巡回健康相談を行っている。国内では、海外赴任中の日本人から電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業界をサポートする講演会、セミナー等を開催している。

JOMF事業内容(海外巡回健康相談):
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/spacial.htm>
 JOMF活用ガイド:
<http://www.jomf.or.jp/pdf/guide.pdf>

昨年度に引き続き2018年度も東京医科歯科大学歯学部と協力し、「海外に在住する日本人小児の口腔保健および生活習慣に関する調査」を実施している。